

[成果情報名] 暖地向けばれいしょ新配付系統「西海30号」

[要約] ばれいしょ「西海30号」はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つとともに、そうか病にも強い暖地二期作栽培に適した食用系統である。春作で出芽が早く、多収、大いもで、やや滑皮、目が浅く、外観に優れる。

[キーワード] ばれいしょ、西海30号、暖地二期作栽培、ジャガイモシストセンチュウ、そうか病

[担当] 総合農林試験場・愛野馬鈴薯支場・育種栽培科

[連絡先] 電話0957-36-0043、電子アドレスnakaot@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] いも類

[分類] 指導

[背景・ねらい]

暖地ばれいしょ産地においては、ジャガイモシストセンチュウとともに、そうか病の発生が大きな問題となっている。シストセンチュウとそうか病の両方に強い「春あかり」は塊茎の大きさや収量性が主要品種にやや劣るため、上記病害虫に複合抵抗性を持ち、大いも多収品種の育成を図る必要がある。

[成果の内容・特徴]

1. 「西海30号」は、愛野馬鈴薯支場において、1998年春作に、多収・大いもで外観に優れる「長系107号」を母、そうか病に強く、外観・食味に優れる「春あかり」を父として交配し、翌99年春作において交配種子を播種し、育成選抜してきた系統である。
2. 出芽期は春作では「デジマ」より5日早く、秋作では2日遅い。茎長は「デジマ」より短く、熟性は中生～中晩生である(表1)。
3. 春作・秋作とも大いもで、春作では株当たりいも数が多いため「デジマ」より多収となるが、秋作ではいも数が少ないためやや低収となる(表2)。
4. 塊茎は楕円形、白黄色、目が浅く、やや滑皮で外観はよいが、形と大きさの不揃いが見られる(表3)。
5. でん粉価は「デジマ」より低く、肉質が緻密で煮崩れが少なく、食味は中～やや良である(表2, 表3)。
6. ジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子(H1)を持ち、そうか病にも強いが、疫病には弱い(表4)。

[成果の活用面・留意点]

1. 地域適応性試験等に供試し、生産現場での評価に活用する。

[具体的データ]

表 1 生育特性

品種系統名	出芽期(月・日)		草型	茎長(cm)		茎数(本/株)		熟性
	春作	秋作		春作	秋作	春作	秋作	
西海30号	3.14(-5)	9.28(+2)	直	46	41	2.0	2.4	中生～中晩生
デジマ	3.19(0)	9.26(0)	直	71	50	1.3	3.2	晩生
ニシユタカ	3.17(-2)	9.28(+2)	直	56	44	1.6	2.6	中晩生～晩生

注) 出芽期の()はデジマとの比較、-は早く、+は遅い

表 2 収量性

品種系統名	上いも数 (個/株)	上いも 1個重(g)	上いも重		規格別割合(%)				でん粉価 (%)
			(kg/a)	(デジマ比%)	2L	L	M	S	
(春作マルチ栽培 - 平成14年)									
西海30号	5.2	131	421	(121)	60	27	12	2	8.0
デジマ	3.9	146	347	(100)	71	18	9	2	9.1
ニシユタカ	5.2	141	449	(129)	67	23	8	2	9.7
(秋作普通栽培 - 平成13～14年の平均値)									
西海30号	3.8	126	294	(88)	31	33	28	9	9.5
デジマ	4.5	124	334	(100)	29	38	26	7	12.7
ニシユタカ	4.0	118	289	(87)	24	37	30	9	10.4

表 3 塊茎特性

品種系統名	いも着 の疎密	皮色	いも型	目の 深浅	表皮 の粗滑	その他	外観 評価	食味	肉質	煮崩れ
西海30号	中	白黄	楕円	浅	やや滑	Cr±	良	中～やや良	中	無
デジマ	やや疎	白黄	扁短楕円	中～やや浅	やや滑	SG+,Cr±	中	やや良	中	微
ニシユタカ	中	白黄	扁円	中～やや浅	中		中	やや否	中	無

注) Cr: 裂開、SG: 二次生長

表 4 病害虫抵抗性

品種系統名	シトセンチュウ	そうか病	粉状そうか病	青枯病	疫病
西海30号	H ₁	強	やや弱	やや弱	弱
デジマ	h	やや弱	やや強	やや弱	やや弱
ニシユタカ	h	弱	中	やや弱	やや弱

注) そうか病抵抗性は発病程度が低い状況での検定結果

H₁: ジャガイモシトセンチュウ(Ro1)抵抗性、h: 同線虫感受性

[その他]

研究課題名: ばれいしょの新品種育成

予算区分: 国庫(指定)

研究期間: 1998～2002年度

研究担当者: 中尾 敬、向島信洋、森 一幸、石橋祐二